

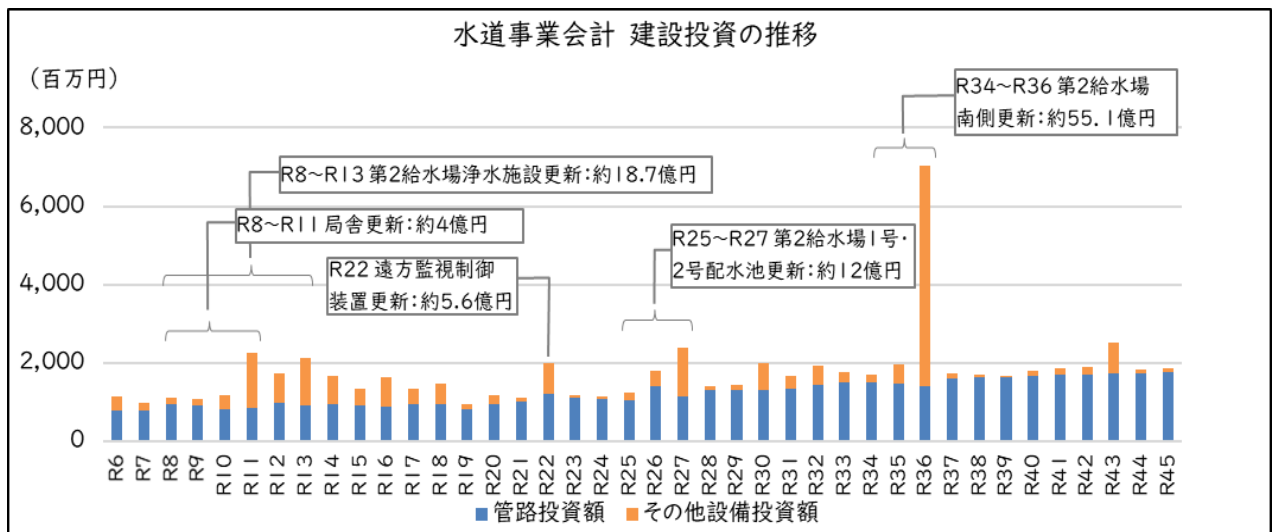
大規模災害と水道事業

1. 令和6年能登半島地震における水道被害

- ・水道水をつくる浄水場、水道水を貯めておく配水池及び配水管などの破損により最大で約11万戸が断水
- ・発災から1か月が経過した2月1日時点
約4万戸で断水が継続している

	断水戸数(戸) (R6.2.1 現在)	基幹的な水道管の耐震適合率(%) (R3 末現在)
石川県		
七尾市	約 14,600	21.6
輪島市	約 10,000	52.6
能登町	約 5,000	37.7
珠洲市	約 4,800	36.2
石川県全体	約 40,890	36.8
全国		41.2
千葉県全体		60.3
習志野市		56.3

2. 水道事業における地震対策(第2次習志野市水道事業経営戦略(案)より抜粋)



- ・平常時のみならず、地震災害時においても安定供給を継続するため
浄水施設、配水池、配水管などの耐震化を含めた更新を計画的に実施

・建設投資額

令和6年度～15年度(10年間)=約145億円 (1年当たり=14.5億円)

令和6年度～45年度(40年間)=約695億円 (1年当たり=17.4億円)

- ・これらの財源を確保する必要がある。

・令和2年度～4年度(3年間) 1年当たりの建設投資額 約8.3億円